

指 導 係

1 指導関係事業

(1) 学校訪問

指導主事が随時訪問し、学校長をはじめ教職員と協議懇談することにより、学校の抱える問題点を解明し、指導・助言をした。また、要請により研究会等に参加し、指導・助言を行った。

(2) 研修会

平成 27 年度は、次の研修会を開催し、教職員の資質の向上を図った。

ア 校長研修会	2 回
イ 副校長研修会	1 回
ウ 主幹教諭任用時研修会	1 回
エ 主任教諭任用時研修会	1 回
オ 教務・研究主任研修会	2 回
カ 生活指導主任研修会	1 回
キ 進路指導主任研修会	1 回
ク 情報教育研修会	2 回
ケ 特別支援教育推進委員会（研修会）	10 回
コ 学校事故防止研修会（水泳指導）	1 回
サ 人権教育研修会	2 回
シ 教育課題研修会	2 回
ス 教育研究会研修会（24 部会）	17 回
セ 教育相談研修会	1 回
ソ 10 年経験者研修会	10 回
タ 初任者研修会	11 回
チ 2 年次教諭研修会	3 回
ツ 3 年次教諭研修会	2 回
テ 4 年次教諭授業観察（研修会）	1 回
ト 環境教育研修会	4 回
ナ 服務事故防止研修会	1 回
ニ 外国語活動研修会	1 回
ヌ 転任教諭等研修会	1 回
ネ 食育リーダー研修会	3 回
ノ 理科実技研修会	1 回
ハ 学級経営研修会	1 回

(3) 音楽鑑賞教室

市立小・中学校児童・生徒の音楽鑑賞教室を、オーケストラ・合唱両部門を各 1 回ずつ、市民会館において開催した。

(4) 演劇鑑賞教室

市立小学校に通う児童を対象とした演劇鑑賞教室を、小学校 4 校において、各校の体育館を会場として開催。平成 27 年度は、福生第一小学校、福生第三小学校、福生第五小学校及び福生第七小学校の児童が、劇団ポプラによる『シンドバッドの大冒険』を鑑賞した。

(5) 教育研究奨励、教育研究委託

教育研究を奨励するとともに教育研究を委託し、教職員の使命の自覚を促すとともに、資質の向上を図った。

ア 教育研究奨励

(ア) 教育研究奨励校 2校

- ・福生第七小学校（2年次）

研究主題「自ら考え、表現する児童の育成～児童が考えたくなる授業の工夫を通して～」

- ・福生第三中学校（1年次）

研究主題「進んで課題に向き合い考えを深め表現できる生徒の育成～言語活動・キャリア教育の充実を通して～」

(イ) 教育課題等研究校 8校

- ・福生第一小学校

研究主題「心を豊かにする教育活動～道徳教育を通して自他を大切にすることを育む～」

- ・福生第二小学校

研究主題「主体的に学ぶ児童の育成～一人一人に合わせた「わかる」「できる」「楽しい」授業作りを通して～」

- ・福生第三小学校

研究主題「自分で解決できる児童の育成～式の表現と読みの指導～」

- ・福生第四小学校

研究主題「自分の考えをもち、表現できる子供の育成～言語活動の工夫を通して～」

- ・福生第五小学校

研究主題「関わり合いを通して学びを深める 言語活動の研究～自ら学ぶ児童の育成を目指して～」

- ・福生第六小学校

研究主題「自分を大切にし、人を思いやることのできる児童の育成～自己肯定感を高める活動を通して～」

- ・福生第一中学校

研究主題「生徒が意欲的に取り組む授業の構築～授業展開力に焦点を当てて～」

- ・福生第二中学校

研究主題「適正な評価評定」

イ 教育研究委託

- ・学校経営研究委託（校長会、副校長会）

ウ 日本の伝統・文化理解教育推進事業

福生市教育委員会が研究委託をした福生第三小学校、福生第四小学校、福生第二中学校の3校において、日本の伝統や文化に関する教育の充実を図るため、各教科等において、太鼓や藍染め、茶道等の体験学習に地域の人材や教材等を活用し、各学校で伝統文化理解教育を推進した。

- ・福生第三小学校

研究主題 「地域支援者の協力による「開かれた学校づくり」～藍染め体験・和太鼓演奏を通して～」

- ・福生第四小学校

研究主題 「日本の伝統・文化理解教育推進事業」

- ・福生第二中学校
研究主題 「日本の伝統文化理解教育」

(6) 特別支援教育の推進

特別支援学級の児童・生徒の安全管理及び学習指導等の充実を図るために指導補助員を配置するほか、教員向けの特別支援教育講演会を開催し研修として位置付けることで、教員の特別支援教育に関する理解を深め指導力の向上を図った。

(7) 各種指導補助員等配置事業

小・中学校に各種指導補助員等を配置して、児童・生徒の指導補助等を行った。

事業名	人数	配置時間
中学校適応指導補助員	12	3,349.5
夏季休業中水泳指導補助員	31	524
小学校水泳指導補助員	25	361
日本語適応支援員（技能指導講師）	13	572
日本語適応支援員（一般指導講師）	3	242.5
学習指導市民講師	26	50
小学校授業指導補助員	38	15,019
特別支援学級等指導補助員	27	6,300.5
部活動外部指導員	25	1,355

(8) 英語教育指導員（外国人）事業

国際理解教育推進の一環として、外国人英語教育指導員を計4名配置し、小学校第5・6学年の外国語活動及び中学校英語科の授業における補助を行った。また、小学校の第1～4学年についても、総合的な学習の時間等における補助を行った。

指導日数：543日

(9) 理数教育推進事業

小学校第5・6学年、中学校全学年に理科支援員を配置し、理科授業の実験、授業等の補助を行った。

人員：11名

活動時間：1,585時間

(10) 小中一貫教育推進事業

“ふっさっ子未来会議”の作業部会である「小中一貫教育推進委員会」により、平成26年度に策定された幼保小中共通の学習指導及び生活指導の基準である「ふっさっ子スタンダード」に基づき、ポスター及び児童・生徒用下敷きを作成・活用することで、「ふっさっ子スタンダード」の定着を図った。

また、中学校生徒を対象に、生徒が自らの心理的・行動的な特性を測定する『K J Q調査』を平成25年度から引き続き実施し、その結果を指導に活用した。

(11) オリンピック・パラリンピック教育推進校事業

福生第二小学校、福生第三小学校、福生第四小学校、福生第五小学校、福生第七小学校、福生第一中学校及び福生第二中学校が、東京都教育委員会の指定を受け、児童・生徒が、オリンピッ

ク・パラリンピックの歴史や意義、国際的なスポーツ大会等が国際親善や世界平和に果たす役割を正しく理解し、世界の国々の文化や歴史を学び、交流することを通して国際理解を深め、スポーツを通して心身の調和的な発達を遂げ、進んで平和な社会の実現に貢献することができる児童・生徒の育成に向けて、研究に取り組んだ。

各小・中学校では、指導講師等の招へいや、体育用具・体育用品の整備を行い、体育の授業環境を充実させた。

(12) 学力ステップアップ推進地域指定事業

福生市立小・中学校全校が、東京都教育委員会の指定を受け、学力向上を目指すため、外部人材を活用するとともに、算数・数学及び理科における教員の指導力向上、算数・数学における児童・生徒の基礎学力の向上を図った。

(13) 言語能力向上推進事業

福生第五小学校が、東京都教育委員会の指定を受け、児童の思考力・判断力・表現力等を育成し、言語能力の向上を図ることを目的として、教員の更なるスキルアップを図るとともに、校内研修会の開催や研究授業を実施したほか、児童向け新聞の購読や指導教材の追加配備等を通して、児童の言語能力向上推進を図った。

(14) 安全教育推進校事業

福生第一小学校が、東京都教育委員会の指定を受け、東京都教育委員会が発行する「安全教育プログラム」を活用し、「自分の命を自分で守る児童」の育成を図るための年間指導計画に基づき、年間を通して安全教育を推進した。

また、福生市総合防災訓練において、福生第三小学校がメイン会場となって、地域住民と協働して避難訓練及び安全教育に関する公開授業を行い、地域全体で安全教育に取り組んだ。

(15) 小学校外国語活動アドバイザー活用事業

福生市立小学校全校が、東京都教育委員会の指定を受け、中学校英語科教員の経験者や英語に堪能な地域人材等を、「小学校外国語活動アドバイザー」として小学校全校に派遣し、小学校教員が、単独で外国語活動の授業を円滑に実施できる指導力を身に付けるための取組を展開した。

人 員：14名

活動時間：276回（358時間）

(16) 外国人児童生徒就学支援事業

市立小・中学校に在籍する外国人児童・生徒に対し、NPO法人と連携して日本語指導及び日本の生活習慣への適応指導を行い、在籍学級への早期適応を図った。